

実験の概要

複数の公共交通(鉄道、路線バス、AI相乗りタクシー)間や生活・観光関連サービス等との連携が図られたドア・ツー・ドアの移動サービスを、都市部の大サンプルモニターへ展開し、サービスの受容性やビジネスモデルの成立可能性を検証する。

協議会の構成員
静岡鉄道株式会社、静岡市、商業組合静岡県タクシー協会、株式会社エスパルスドリームフェリー、静岡市社会福祉協議会、静岡商工会議所、公益財団法人するが企画観光局、株式会社静岡銀行、他オブザーバー、技術会員

地域の交通課題
a. 事業者としてバス路線の維持が困難となりつつあり、利用者の利便性が低下
b. 高齢者、障がい者等を含む全ての市民の移動手段の確保
c. 高齢ドライバーの自動車事故件数の増加

本格的な導入に向けた検証項目、目標値
AI相乗りタクシーの効果検証
運賃の満足度(金額、分かりやすさ): 利用者の60%以上等
MaaS Webサイトに対する市民の受容性
MaaSサービスの継続利用意向: 利用者の60%以上等

実験内容

- (1) AI相乗りタクシーの実証運行
 - ・静岡駅北部地区を対象に、1,000人以上のモニターを確保して実証実験を実施
 - ・配車システム: SAVS(株)未来シェアを活用
 - ・タクシー会社: 静鉄タクシーほか複数社調整中
 - ・使用車両: 小型もしくは中型タクシーを使用
 - ・利用料金: 有料(事前確定運賃を想定。相乗り協力で割引相乗り発生でさらに割引を想定)
- (2) 鉄道・バス・タクシー等の異なる交通モード間の連携
 - ・対象交通手段: 鉄道(静岡鉄道静岡清水線)、バス(しずてつジャストラインの乗合バス)、相乗りタクシー(静鉄タクシーほか複数社調整中)、自転車、徒歩
 - ・MaaS Web上で上記交通手段が含まれる経路を一括して検索でき、相乗りタクシーのリアルタイムでのオンデマンド予約が可能
 - ・支払いはWebページでコイン(地域通貨)を購入
 - ・コインでバス、相乗りタクシーの運賃を一括支払い